

生産性改善の「落とし穴」と成功への道

なぜ、改善プロジェクトは挫折するのか？

生産性改善の「落とし穴」



財務的視点の欠如

単なる現場の「タラレバ計算」に終始し、CFやPLへのインパクトを検証していない。



心理的安全性の不在

改善を「命令」や「プレッシャー」で進めてしまい、現場の離職や反発を招いている。



代用情報の使用

アナログ管理や精度の低いデータに基づいて意思決定を行っている（DXの必要性）。



PMOの不在

抽象的な概念で運用し、具体的な優先順位や効果検証の仕組みが整っていない。



成功への道



生産性改善は「心理的安全性な環境」を基盤とし、データと財務分析を紐付けることが不可欠です。

収益を最大化する「製造業8大領域」の全体像



労働生産性

IE・リーンを活用し、人当たり付加価値や間接比率を最適化。



設備生産性

TPMを基軸に、設備総合効率(OEE)と故障率を管理。



プロセス効率

6シグマやQCを用い、タクトタイムと歩留まりを極限まで改善。



コスト管理

管理会計に基づき、エネルギーや廃棄コストの比率を監視。



在庫管理

キャッシュフローに直結する在庫回転率と滞留日数を最適化。



品質管理

検査不良率だけでなく、1st Pass Yield (直行率) を重視。



安全管理

ヒヤリハット報告数と損失時間を指標化し、投資を継続。



SCM・納期

納期遵守率(OTD)と調達リードタイムを徹底管理。

意思決定のための重要KPIと投資評価基準



設備生産性

- ・主要KPI: 設備総合効率(OEE), 設備故障率, 段取り時間
- ・改善アプローチ: ロス分類の明確化・原因紐付



品質・工程

- ・主要KPI: 直行率(FPY), 不良率, リワーク率, 歩留まり
- ・改善アプローチ: DMAICサイクルによる調査



経営・財務

- ・主要KPI: ROI(投資利益率), NPV(正味現在価値), CF
- ・改善アプローチ: 予算・中計との紐付け

【重要公式：設備総合効率(OEE)の定義】

$$OEE = \text{稼働率} \times \text{性能効率} \times \text{良品率}$$

※投資後の効果は、必ずキャッシュフロー（CF）で検証し、予算・中計に反映させてください。